



CHAIN
MALL



免責事項

本ホワイトペーパーは、chamトークンのプロジェクトについて記載しています。

本ホワイトペーパーで説明されるとおり、chamは、Chaim Mall プロジェクトチームとその提携企業で提供されるすべてのサービスに使用されるよう設計された暗号資産です。

Chamトークンは、イーサリアムプラットフォームを元に作られた「トークン」であり、いずれの法域においても有価証券の性質を有するものではありません。

本ホワイトペーパーは、投資を勧誘するものではなく、いずれの法域においても決して有価証券の募集には該当しません。

Chamトークンの購入はすべて確定的なものであり、返金不可である点にご留意ください。

個人、企業その他の組織はchamトークン購入のリスク、費用及び利益について慎重に考察しなければなりません。

本ホワイトペーパー以下および文書全体に含まれる情報は網羅的なものではありません。

またこの文書は、当社とトークン購入者との間の契約上の関係を意味するものではありません。

このホワイトペーパーに含まれている、またはこのICOに関連して他の場所に掲示されている資料の正確性・信頼性、または完全性を保証するものではなく、法的責任を一切負いません。

Chamトークンは、他の事業体又は他の者に対して、本ホワイトペーパーに記載された情報の真実性、正確性及び完全性に関する表明、保証又は約束を含む、いかなる種類の表明、保証又は約束を行わず、行うことを意図しておらず、またかかる表明、保証又は約束をすることを否認します。

ICOの目的

ICO(Initial Coin Offering)とは、独自のデジタルトークンを発行して売り出すことによって資金を調達するための手法です。

株式調達のようにエクイティを譲渡する形ではなく、購入型のクラウドファンディングと同様に、単にトークンを販売するものとなります。

今回のトークン販売時点では「暗号通貨」としては認識されません。

つまり、厳密な定義上ではICOは「資金調達」の手法ではなく、「トークンの販売手法」となり、購入する側については、プロジェクトに投資する「投資家」ではなく、「トークンの購入者」となります。

現時点においてchamトークンは不特定の者に対して対価の弁済として利用できるものではなく、法定通貨・ビットコインその他の既存の暗号通貨との交換市場は存在していない状況であるため、今回のICOプロジェクトに関しても上記の定義が当てはまると考えられます。

確認すべき重要事項

調達した資金は、全てChain Mallを発展させるために充当します。

- 1) Chain Mallシステムの開発・運営
- 2) NFTプラットフォームの構築
- 3) 独自NFT管理ウォレット開発
- 4) 新規取扱製品の開拓に伴う費用
- 5) ブロックチェーンを活用したデジタルチケット販売システムの実装

Chamトークンの購入には、重大なリスクを伴います。chamトークンの購入前に、購入者は以下のリスクについて許容しているものとします。

- ・購入者はChain Mallにおけるいくつかのサービスは現在開発中であり、サービス開始までの間に大幅な変更が生じる可能性があることを認識しています。
- ・購入者は、Chain Mallの形式及び機能に関する期待は、様々な理由により満たされない可能性があることを理解しています。
- ・購入者は、chamトークンは当プロジェクトを主要な大多数の暗号通貨取引所と接続すべく最善の努力を払うものの、当プロジェクトとの接続を拒否する取引所がある可能性もあり、その結果プラットフォームを通じて提供される流動性が本ホワイトペーパーで予測されるより低くなる可能性があることを理解しています。
- ・購入者は、Chain Mallは期日通りにサービスを開始すべく最善の努力を払うものの、公式リリースの時期が遅れる可能性があることを理解しています。
- ・他のトークンセールと同様に、chamトークンの価値は大幅に変動することがあり、様々な理由により価値が低減する可能性もあります。
- ・chamトークンはイーサリアムブロックチェーンにおいて発行されます。したがって、イーサリアムプロトコルの不具合又は想定外の作用によって、chamトークンを転送し又は安全に保管する購入者の能力に影響する場合があります。

チェーンモールとは

チェーンモールとは、基本はデジタルコンテンツのみの取り扱いのNFTプラットフォームを、デジタルコンテンツのみならずリアルコンテンツ（現物）に活用することを目的として開発されるECモールです。

高級ブランド品やアクセサリ等に付属される紙媒体のギャランティをNFTとして発行し、製品とセットで管理することが可能です。

これにより、偽ブランド製品の流通を防ぐことができ、転売時にもその製品が本物であることをNFTで保障することができます。

また、アーティスト等のチケットをNFT化し販売できる機能も搭載します。

これにより、偽造チケットの販売や高額転売等の問題を防ぐことが可能です。

クリエイターやアーティストを支援するクラウドファンディング機能も実装します。

現物だけでなくデジタルデータの販売もできるハイブリッド型のNFTプラットフォームです。

Chain Mall Token（cham）とは

NFTプラットフォームの「チェーンモール」で利用できるトークンです。

Chain Mall Tokenを使うと、お買い物や手数料の割引を受けることができます。

また、チェーンモール内でクリエイターやアーティストが立ち上げたクラウドファンディングプロジェクトに、chamを使って支援することも可能です。

その他、Chamトークンを保有していることで保有割合に対し新規Chamトークンが発行される(リキッドマイニング)機能も備えています。

Chain Mall Token(cham)概要

トークン名	Chain mall token
通貨シンボル	Cham
タイプ	Utility Token
総発行枚数	20,000,000,000 cham
最大販売枚数	5,000,000,000 cham
クラウドセール販売枚数	2,500,000,000 cham
ステーキング割合	3,500,000,000 cham
運営保有分	4,000,000,000 cham
マーケティング使用分	1,000,000,000 cham
ブロックリワード	4,000,000,000 cham
発行会社	Babel Co., Ltd.
所在地	93C, street 148, Vimean Phnom Penh , Sangkay Chrang Chomres, Khan Russey Keo, Phnom Penh , Cambodia

事業背景

今世界ではネットショッピングによるモール市場が過熱しています。

コロナウイルスによって過熱するこの市場では、盛り上がりと同時に「偽ブランド品製品」も急増しています。

現在では「偽ブランド品製品」は世界貿易額の2.5%を占めているといわれ、その額なんと5兆ドル（約550兆円）にも上ります。

出典： 「OECD（2016）」 <http://www.oecd.org/>

中国ではEC各社が偽ブランド製品を排除しようとコストをかけて対策を試みっていますが、偽ブランド業者もそれに対抗し市場をどんどん拡大しているのが現状です。

出典：「東方新報（2018/9/3）」 <https://www.afpbb.com/articles/-/3188241>

また、紙の製品保証書にもいくつか問題点が存在します。

保証書の盗難・紛失や、次オーナーへ変更をした場合の記載が満欄になってしまう、商品自体が本物でも保証書の紛失によって評価を大幅に下げってしまうなど、紙特有の課題があります。

その他にも業務機器や車といった高額な商品は保証書の管理コストが付きまとう一方で、オーナーが変わった際の履歴が残らず検証が困難になってしまうといった別の問題もあります。

これらの問題の一番の要因は、デジタルで保証を証明する術がないことや、デジタル保証書を取り扱うマーケット数が圧倒的に足りていないことです。

しかしNFTを使うことでこれらの問題は解決できます。

デジタル上で製品の価値を証明でき可視化が可能になれば、現在紙の保証書が抱えている問題点を解決することができ、多大なる恩恵を受けることができます。

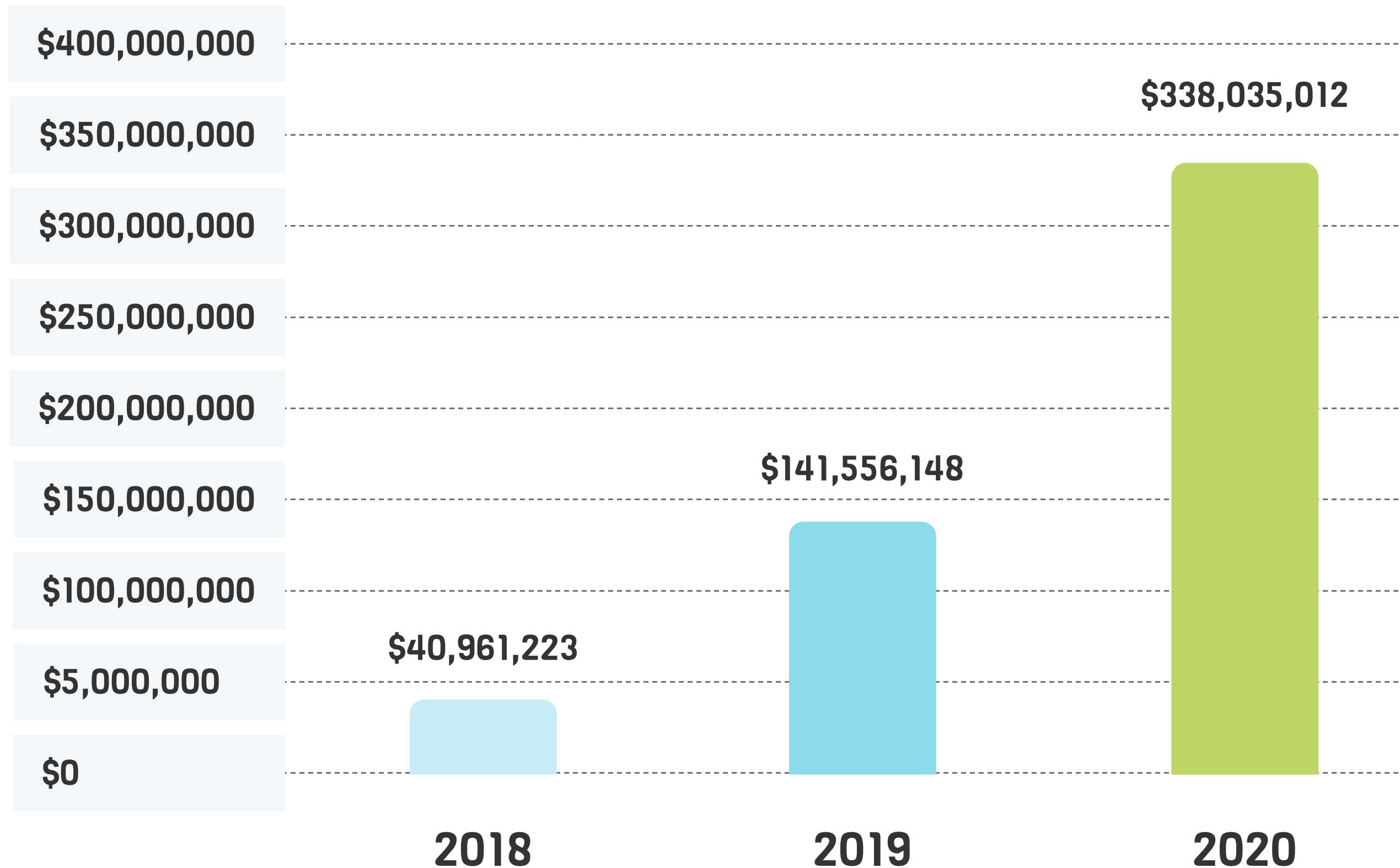
NFTの市場規模

現在ブロックチェーン業界において急速な勢いで拡大しているのが、このNFT市場です。

NFTのアクティブウォレット数(+97%)や、NFTを売買したユーザーの数(売り：+66%・買い：+24%)

を過去3年間で比較するだけでも、2020年がNFT元年であったことがわかります。総取引高に関しては、2019年比で299%もの急成長を遂げています。

	2018	2019	2020
Active Wallets	110 551	110 551 +1.97%	110 551 +97.09%
Buyers	110 551	110 551 -13.92%	110 551 +66.94%
Sellers	110 551	110 551 -9.37%	110 551 +24.7%
USD traded	110 551	110 551 -60.52%	110 551 +299%



2019年に約1億4000万ドルだった市場規模も、倍以上となる約3億3800万ドルにまで拡大しました。

なおNFTの市場規模は、市場に存在する全てのNFTの合計から算出されています。

チェーンモールの特徴

決済の幅が広い

通常のNFT取引では、ETHを中心とした暗号通貨でのみの支払いが多い中、通常のECモールのようにクレジットカードをはじめとする様々な決済方法に対応可能

デジタルコンテンツのみではなく リアルコンテンツの取扱いが可能

高級ブランド品等の現物だけでなく、チケット等デジタルデータの販売もできるハイブリッド型のNFTプラットフォーム

ギャランティ(保証書)をNFTで管理可能

このサービスは製品の価値をデジタル上で可視化できるため、既存の紙で起きている問題を解決する

支援型で有望クリエイターやアーティストの オリジナルコンテンツのNFT化が可能

クラウドファンディング機能を搭載し、クリエイターやアーティストが資金調達を行い新たなNFT製品を作ることが可能

取引手数料の割引システム

販売時や利用時の各種手数料をChain Mall Tokenで支払うことによりディスカウントされる

商品の購入にchamトークンを使用することで割引がされる

Chain Mall Tokenを決済に使用するとディスカウントされる

チケットのNFT化

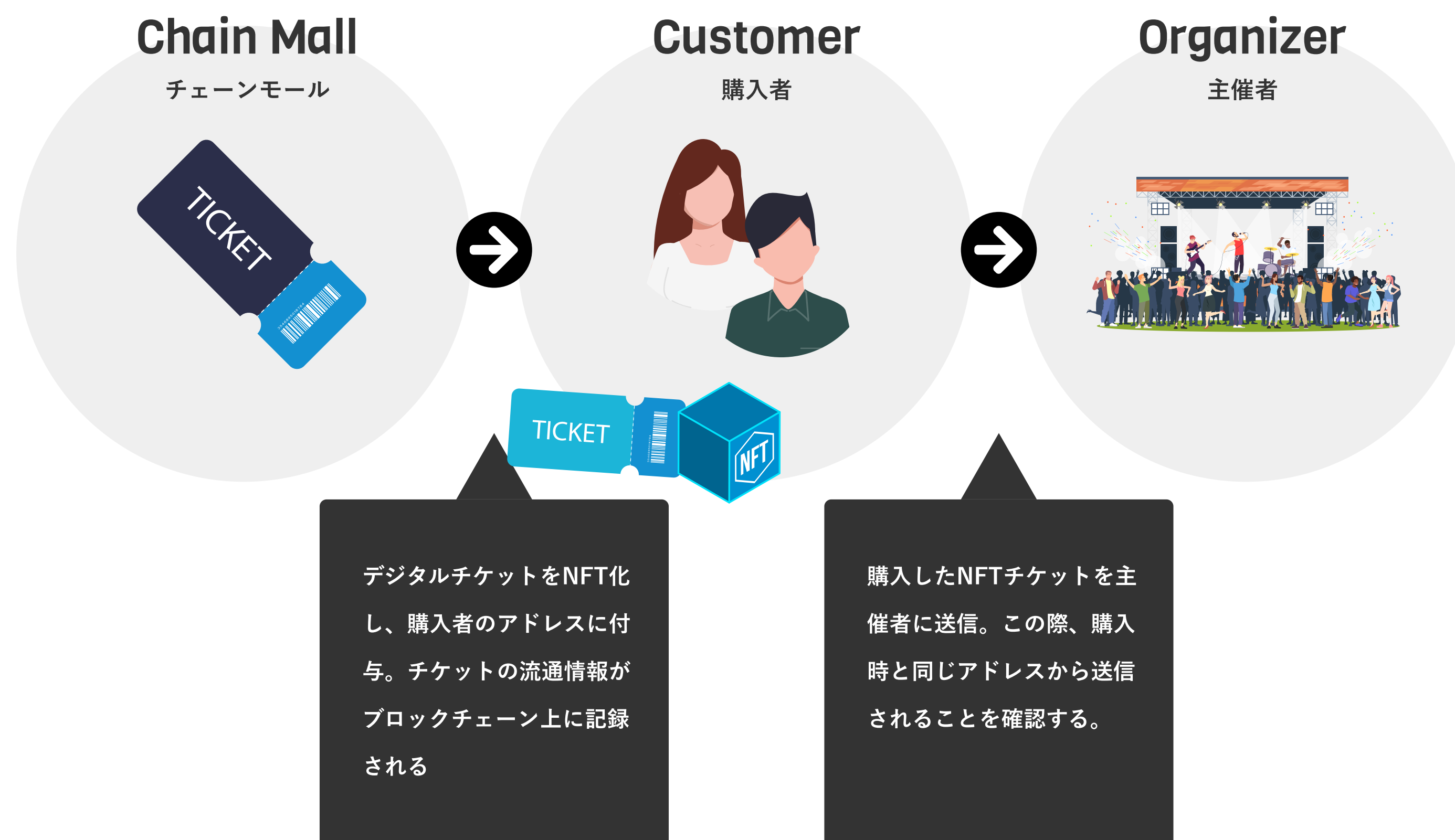
チケット業界で大きな問題となっている「チケットの高額転売」をご存じでしょうか。
チェーンモールではブロックチェーンの技術を活用し、この問題に取り組みます。

この問題の背景に存在するのは「チケットの二次流通市場」の拡大です。
現在のライブや舞台の市場規模は5000億程度で、この20年で市場規模は2倍になっています。
かつて金券ショップが主流だった時代では、二次流通の市場規模は200億円程度にとどまっていたものの、
ネットの普及で600億円にまで拡大しました。

そして参入障壁が大きく下がったことにより、高額転売を目的とした転売屋の買い占め被害も増加するようになりました。

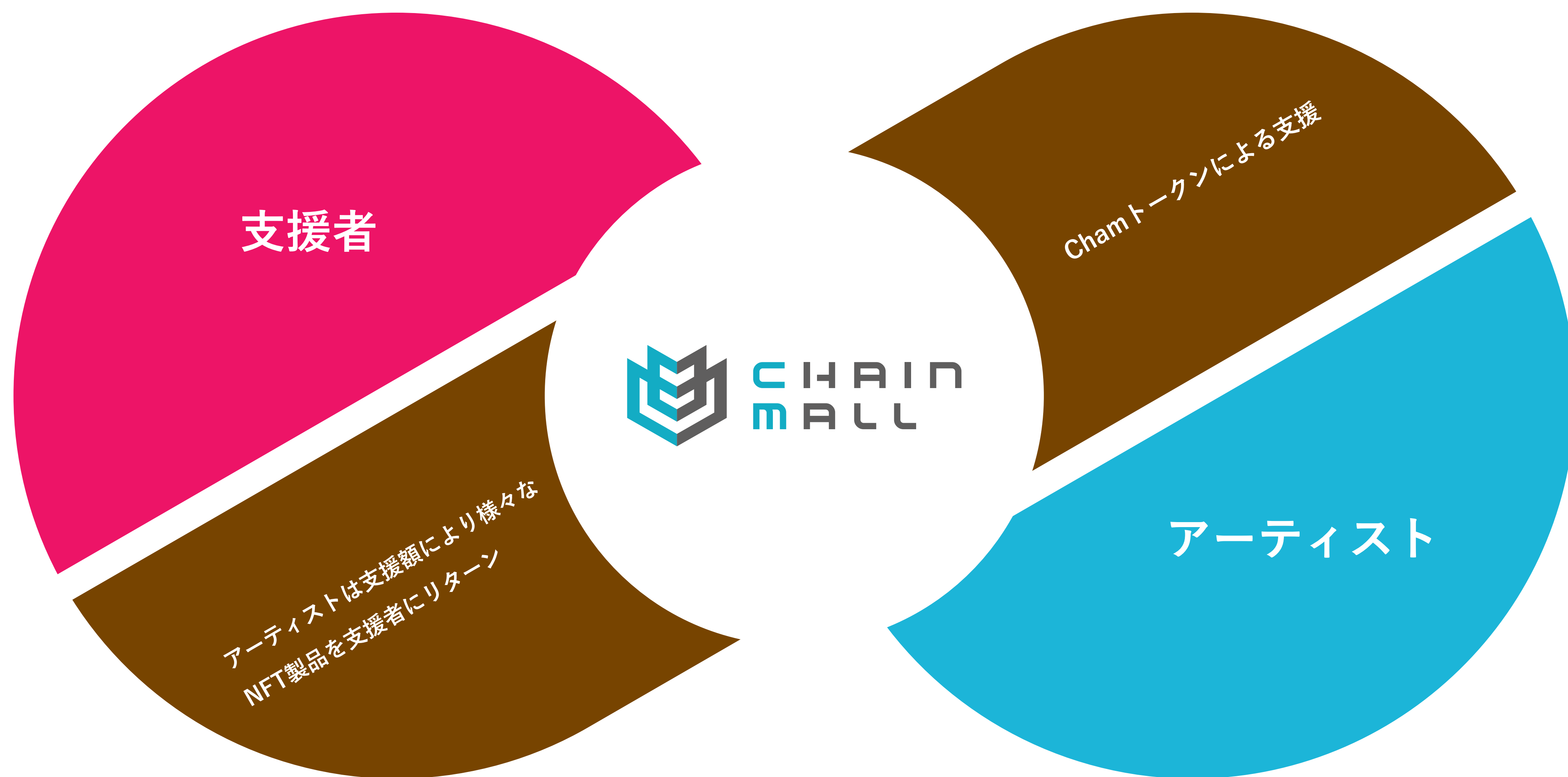
被害が増加しているにもかかわらずこの問題が減る兆しが見えないのは本人確認の厳格化等、不正防止策の甘さにあると考えられます。
更にファンクラブ先行販売など限定的なチケットの入手手法は、転売屋にとっても有利なものです。
欲しい人に満遍なく行きわたり、入手機会が平等になるように販売を行うことができれば、転売で利益を得ることは難しくなっていくと考えられます。

チェーンモールでは、NFT化したチケットを販売することによって流通を透明化させます。
NFT化したチケットは流通経路がすべてブロックチェーン上に記録され公開されるので、ライブ等の主催者は一次流通者のアドレスに付与されたNFTデジタルチケットのみを受け付けることにより、高額転売だけでなく偽造チケット等の問題をも解決することができます。



クラウドファンディング機能

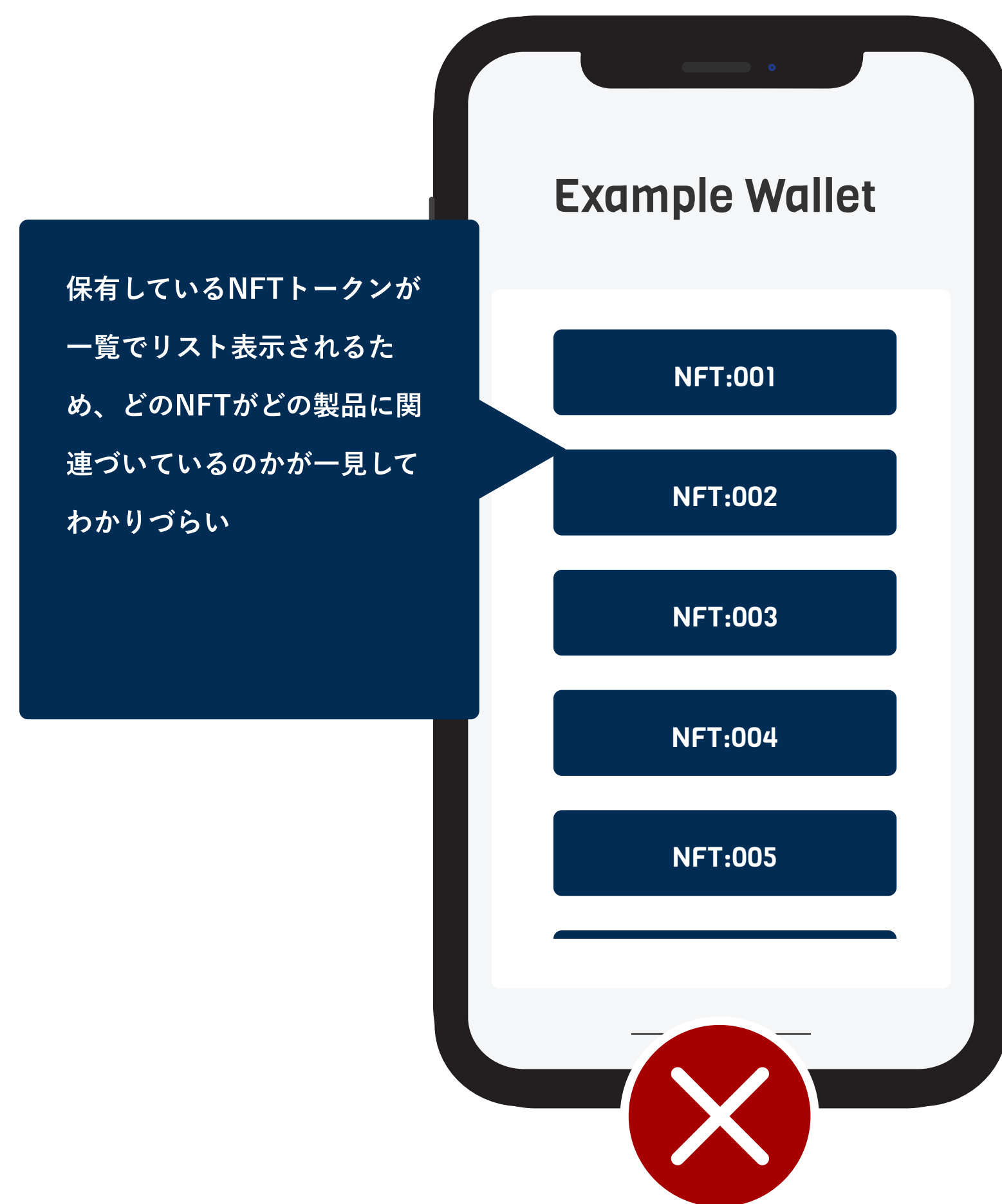
アーティストやクリエイター支援機能として、クラウドファンディング機能を搭載しクリエイターが資金調達を行い新たなNFT製品を作ることが可能です。
支援者はchamトークンにより支援することができ、アーティストやクリエイターはその対価としてNFT製品をリターンします。



独自NFT管理ウォレット

従来のNFTトークンの管理ウォレットでは、複数のNFTを保有している場合どのNFTトークンがどのデジタルデータと紐づいているかがわかりにくい仕様となっています。
チェーンモールのNFT管理ウォレットでは、この部分を視覚化し簡単にNFTトークンを管理することが可能です。

従来のウォレット



独自ウォレット

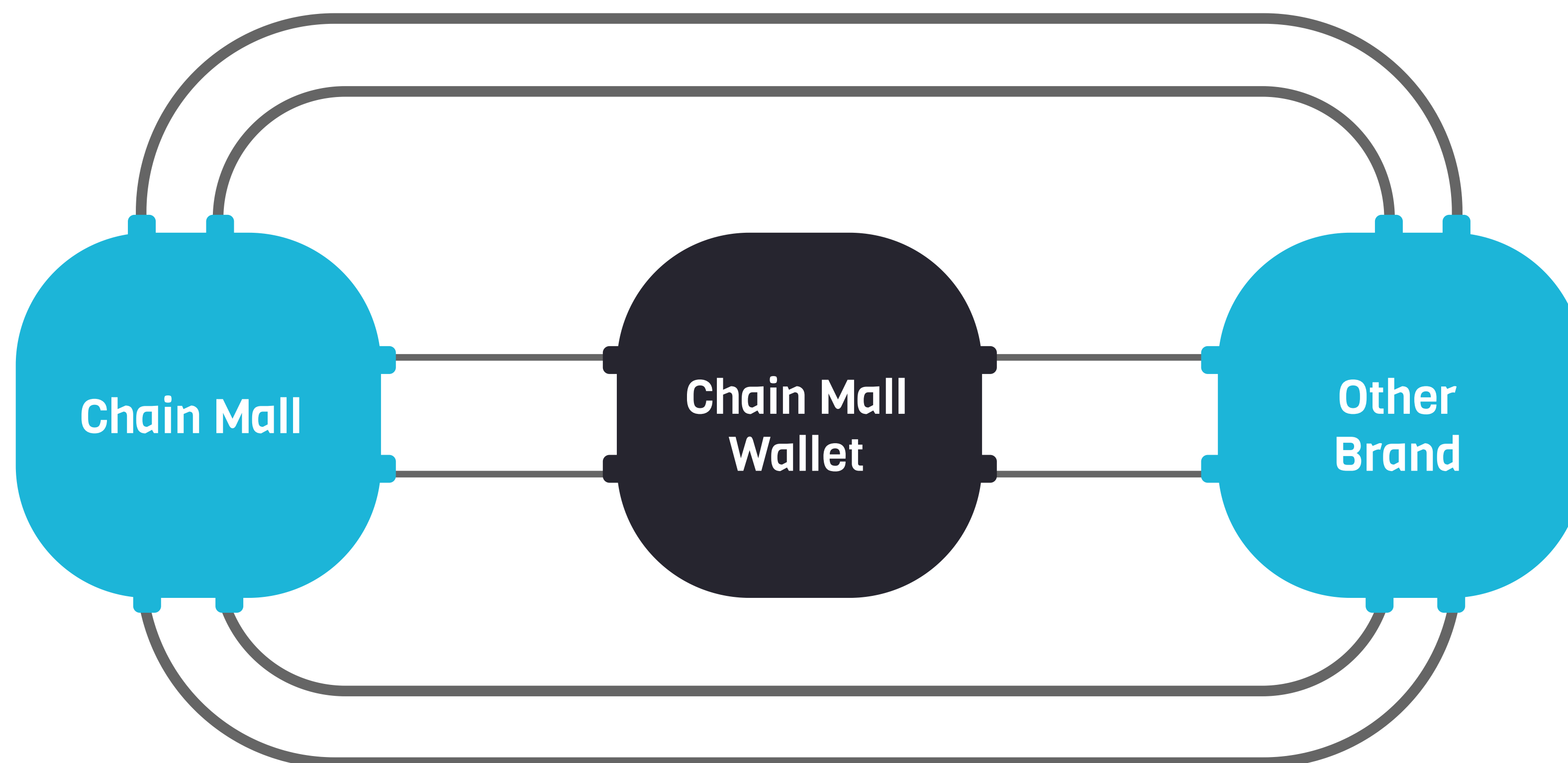


チェーンモールのビジョン

チェーンモールでは、今後さまざまなブランドと提携し、ブランド商品のギャランティをNFTトークンとし発行し展開することにより
ギャランティ管理の簡素化と偽造品の撲滅を目指します。

また、既存で何かしらのパフォーマンスができるが、そのパフォーマンスを世界に展開できないアーティストやクリエイターへの評価が曖昧であるといった課題に立ち向かい、それらのパフォーマーが適正に評価されるようなプラットフォームを目指します。

さらに、既存でグローバルの障壁を超えることが物理的に難しい不動産などについても展開し流動性を生み出し
適正な評価がグローバルで行うことができるプラットフォームを目指します。



チェーンモールプラットフォームをOEM展開し、
全てのNFTギャランティの管理は1つのウォレットで行う

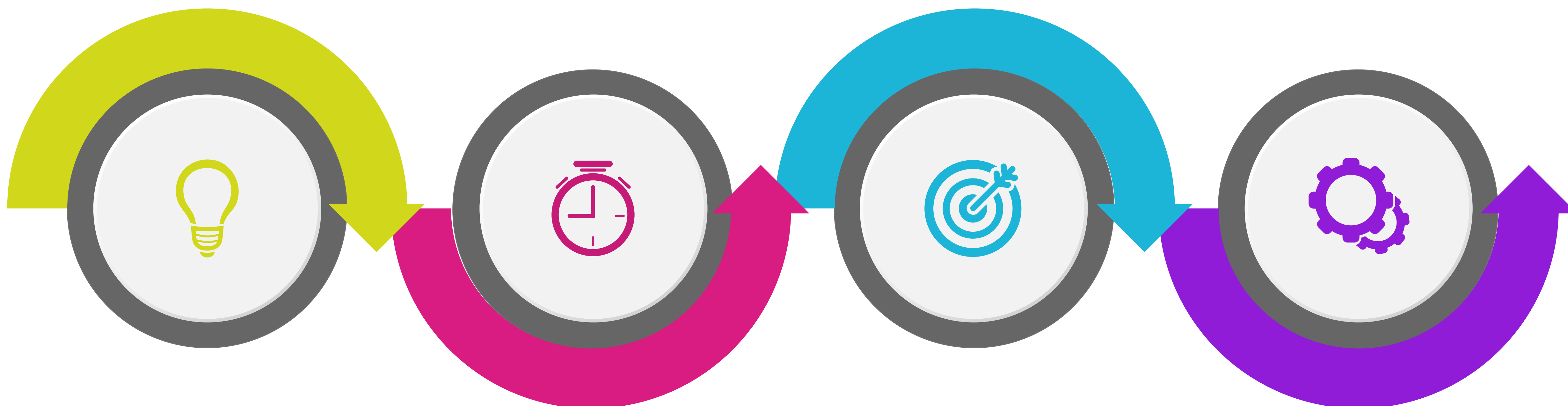
ロードマップ

独自トークンセール開始

開発・マーケティング

トークンのリスティング

チェーンモールリリース



2021 / Q1

チェーンモール内で決済に使用できる独自トークン「cham」のセールを開始。トークンセール参加者には購入金額相当のオリジナルジュエリー（シルバーorゴールド）を送付予定。

2021 / Q2

トークンセールで調達した資金をもとにプラットフォームの開発を開始。チェーンモールとchamトークンを各メディアを用いてマーケティングを行う。

2021 / Q3

独自トークンを暗号資産取引所へリストさせる。

2022 / Q1

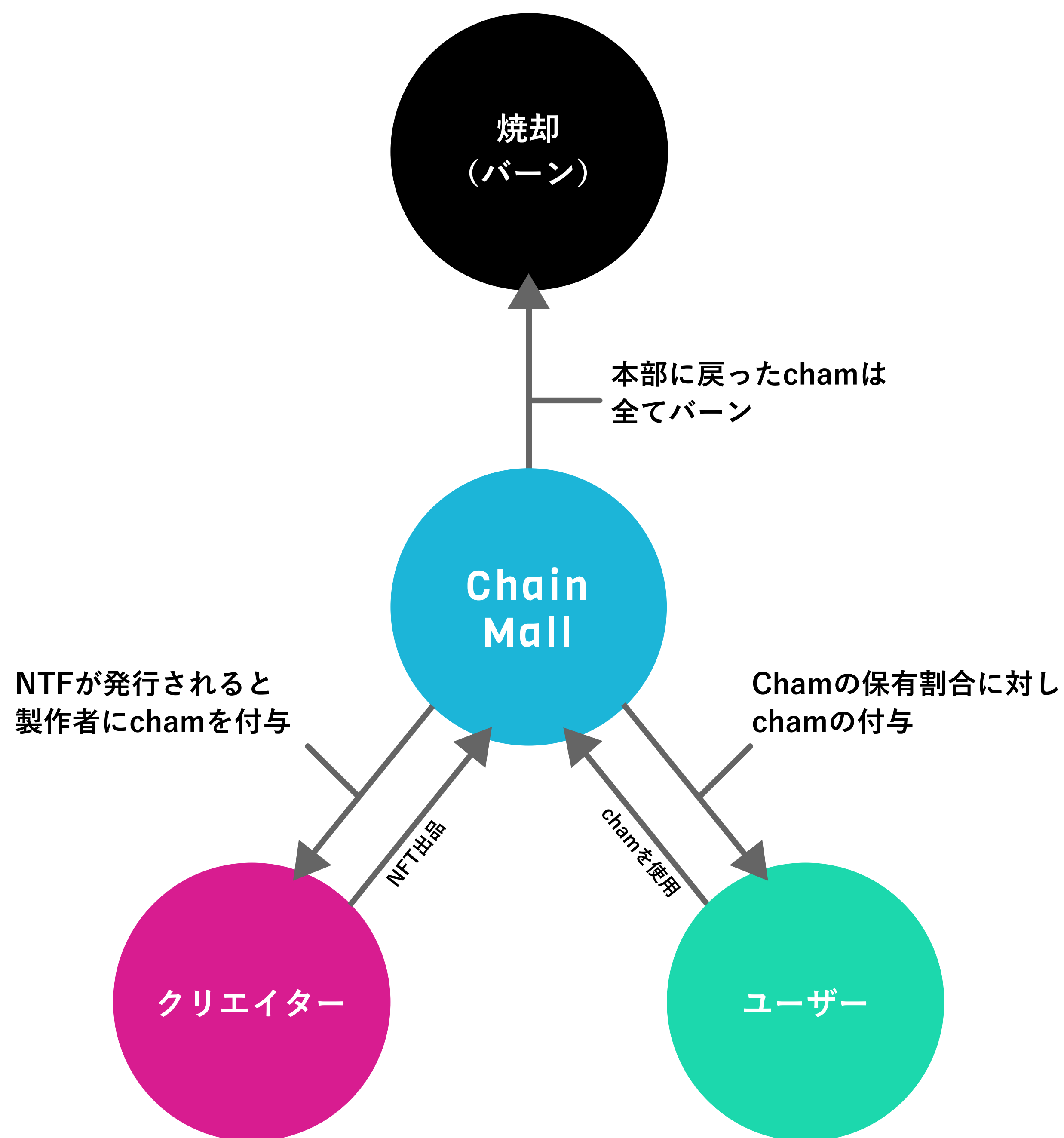
プラットフォームの開発を完成させリリースする。提携先の拡大、同プラットフォームのOEM展開を狙う。

トークンエコノミー

[chamトークンの用途]

- ・ NFTトークンを作成したら一定量のchamトークンが付与される(ブロックリワード)
- ・ チェーンモール上でNFTを活用した商品を作成したい人は、クラウドファンディング機能で支援募集を募ることが可能。 この支援はchamトークンでのみ可能。(国内のものと違うのはグローバルでの調達が可能)
- ・ クラウドファンディング機能で、応援としてNFT商品を作成したい人に支援することが可能
- ・ chamトークン自体を支払いに利用できる
- ・ chamトークンで支払いする場合は割引がされる
- ・ chamトークンで手数料を払うことで割引される
- ・ chamトークンを保有していることで保有割合に対し新規chamトークンが発行される(リキッドマイニング)
- ・ ユーザが使用し運営側に戻ったchamトークンはバーンを行う

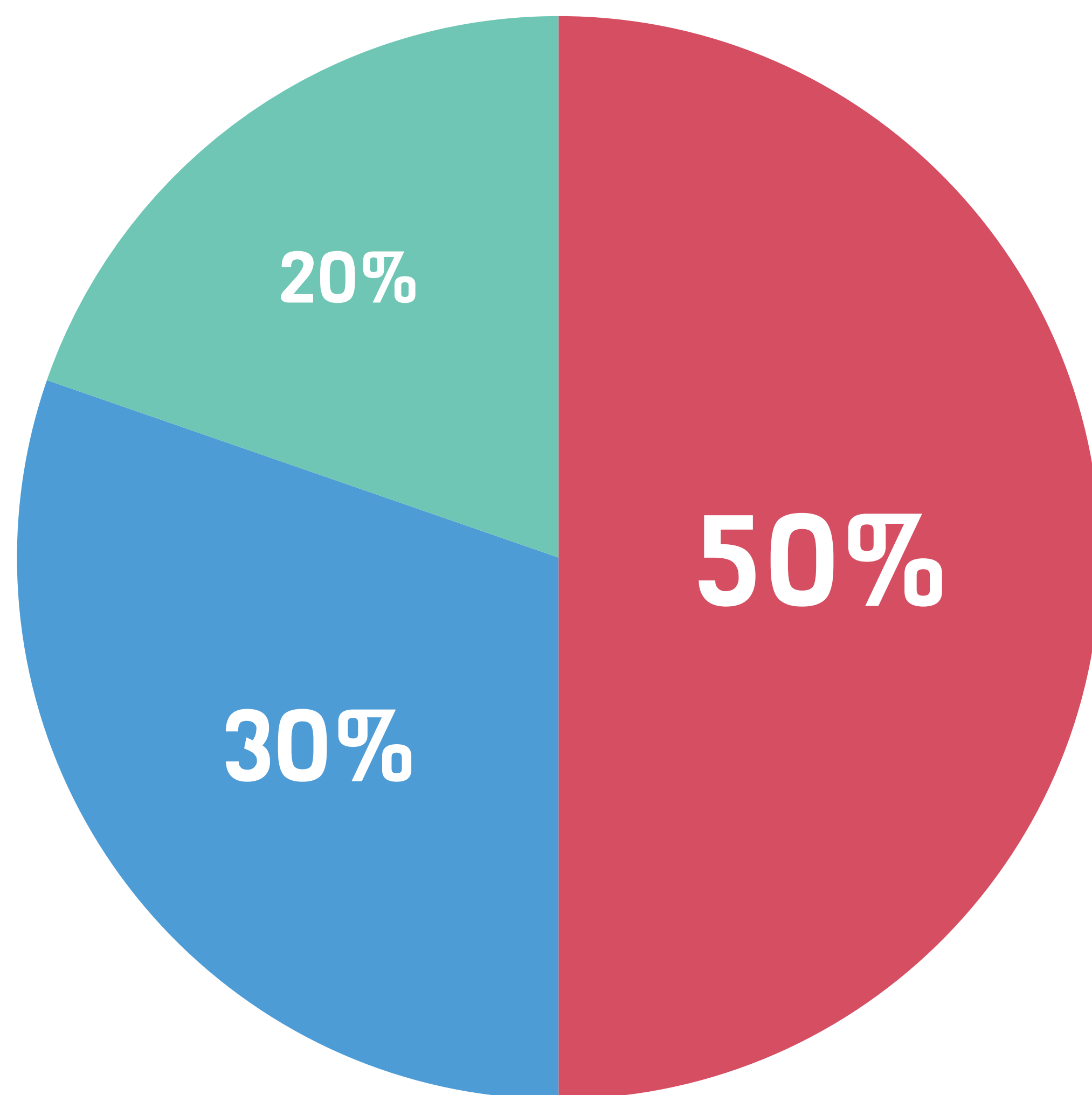
トークンエコノミー相関図



- ・チェーンモール上での取引が行われ、NFTが世の中に出れば出るほどchamトークンは消費され価値は上がっていく
- ・NFTを作れば製作者はchamトークンが付与されるので、他のプラットフォームで作成するよりも優位。その結果NFTを作りたい人が集まりコンテンツは充実。
- ・NFT製作者が宣伝するためユーザーの獲得もできる。
- ・ユーザーはchamトークンを使う場所が多いので、普通の支払いよりもchamトークンを保有する。そして使えば使うほどバーンされていくので、市場流通枚数が減り価格は上昇が見込まれる。

トークン配分及び資金使用用途

トークン配分

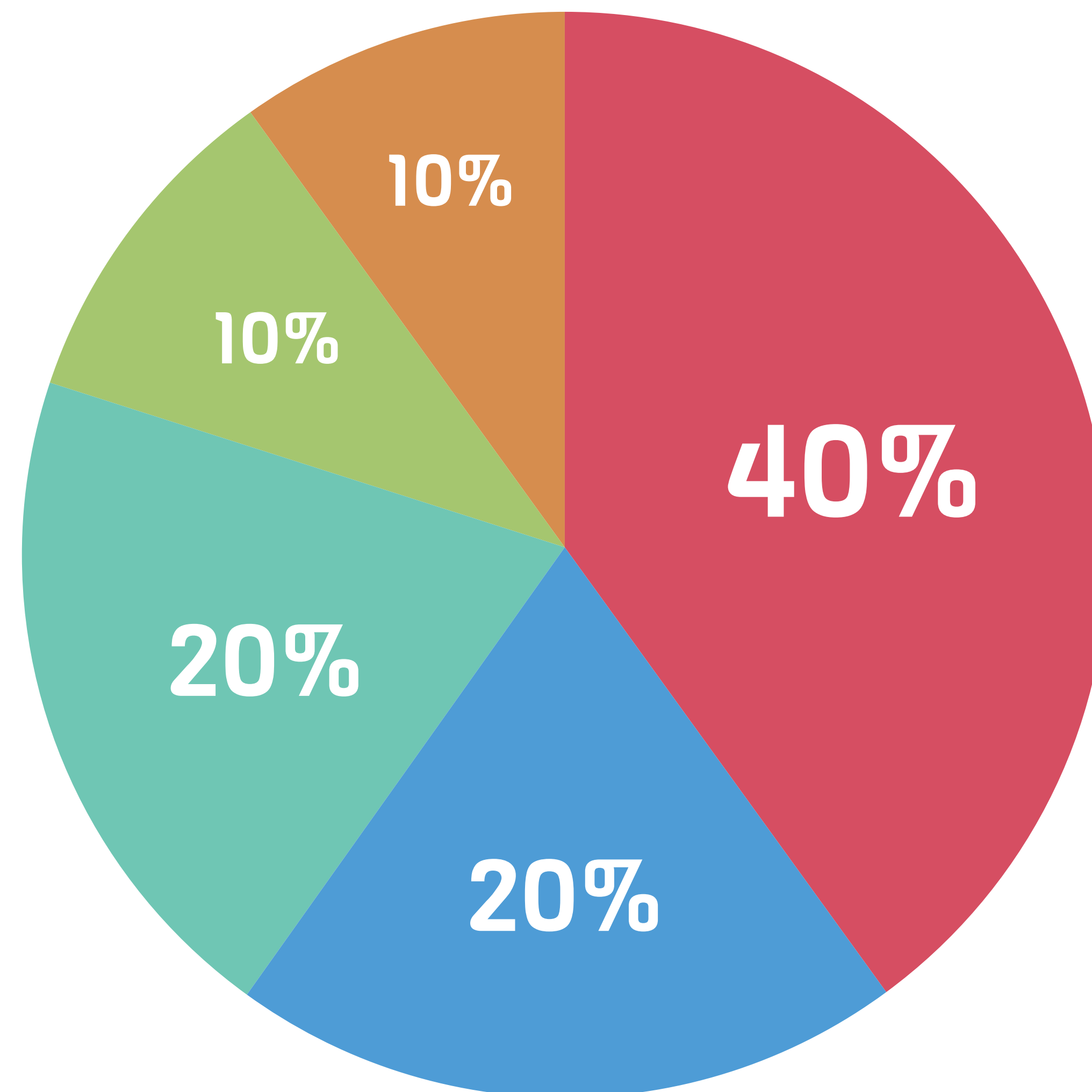


ICOセール
50%

運営保有分
30%

マーケティング
20%

資金配分



システム開発
40%

提供先拡大
20%

マーケティング
20%

管理コスト
10%

法務対応
10%

注意事項

この文書は情報提供のみを目的としており、当社又は関連する会社の株式又は有価証券を売却する勧誘を目的とするものではありません。そのような勧誘は、法律の条項に従ってのみ行われます。提示された情報や分析のいずれも、投資判断の根拠となるものではなく、具体的な推奨事項はありません。したがって、この文書は、投資に関する助言や勧告、投資に対する投資勧誘を構成するものではありません。本書は、証券の売却、又は証券の購入に関する勧誘を目的としたものではありません。また、本書は規制当局等に提出もしくは登録されておらず、また規制当局による検討、確認もされておらず、その予定もありません。当社は、本書に記載された情報の誤り、漏れ又は不正確さから、直接的又は間接的に発生するあらゆる種類の損失及び損害に関する一切の責任を負わないものとします。なお、本書に記載されている情報は、将来予告なしに変更することがあります。

購入者の制限に関する事項

■ Babel Co., Ltd.が発行するChain Mall Token（以下「chamトークン」といいます。）又はそれに類似するトークンの購入を禁止される等適法でない可能性がある国又は州（中華人民共和国を含むが、これに限られません。）の国民又は居住者その他の当該法律の適用を受ける可能性のある購入者及び欧州経済領域（EEA）域内の国家の国民又は居住者は、chamトークンを購入することはできません。

■ chamトークンの購入は、トークン及びブロックチェーンに基づくソフトウェアシステムに関する豊富な経験、並びにその使用及び複雑さについての知識を有する個人、事業体又は企業によってのみ行われるものとします。購入者は、chamトークンその他のトークンに関する保管方法及び送信メカニズムについての機能を理解していなければなりません。

■ 当社及び当社関係者は、購入者によるchamトークンの紛失に対し理由の如何を問わず一切責任を負いません。

■ 購入者が必要とされる上記その他の経験もしくは専門知識を有しない場合、chamトークンを購入できません。chamトークンを購入する際は、購入のリスク及び費用その他の一切のデメリットを慎重に検討した上で購入するものとします。購入者が必要とされる上記その他の経験もしくは専門知識を有しない場合は、この点について専門家から独自のアドバイスを得るなど、購入者自らが後に記載する「chamトークン購入にかかるリスク」に記載する事項その他のchamトークン購入にかかるリスクについて理解のうえ検討し、承諾できる状況となった上で購入して下さい。

■ 購入者が後に記載する「chamトークン購入者の表明保証」に定める表明保証に違反するものと当社が判断する場合、購入者はchamトークンを購入することができません。

Chamトークン購入にかかるリスク

Chamトークンの購入には、重大なリスクを伴います。chamトークンを購入する前に、購入者は以下に列挙されたリスクについて慎重に検討し、理解できない事項がある場合は必要な範囲において弁護士、会計士、税理士その他の専門家に相談して下さい。また、chamトークンの購入は購入者が確定的な購入の意思をもってされるものであり、当社が認める場合を除き、いかなる場合も返金できませんのでご注意ください。

（ブロックチェーン技術に内在するリスク）

■ ブロックチェーン技術は、世界中のさまざまな規制当局による精査の対象となっています。chamトークンは、chamトークンの発行や流通、交換を妨げたり、制限したりする可能性のある規制に関する問い合わせや措置、法改正によって影響を受ける可能性があります。

■ ユーザーのアカウント情報又は秘密鍵にアクセスできる第三者は、chamトークンに関する操作を行うことができます。

これらの情報が第三者に知られた場合には、chamトークンの紛失等につながるリスクがありますので、購入者はこのリスクを最小限に抑えるために、電子デバイスへの不正アクセスから保護される等の措置を講じる必要があります。

（chamトークンの価値の変動に関するリスク）

■ 他のトークンと同様chamトークンの価値は大幅に変動することがあり、また、様々な理由により価値が低減する可能性があります。

■ 当社は、chamトークンにかかるトークンエコノミー（以下「chamトークンエコノミー」といいます。）の創出に最善の努力を払うものの、それを保証することはできません。購入者は、chamトークンの流動性が自らが予測・期待するものより低くなり、また、chamトークンの利用及び採用が不十分な場合、プラットフォーム立ち上げ時にその市場がほとんど又は全くなく、chamトークンの価値が限定される可能性があることを理解しなければなりません。また、chamトークンエコノミーは、chamトークンの価値の低下をもたらすシステム的な不具合が起こる可能性があります。

■ 購入者がchamトークン購入時に当社と購入者との間で定める、購入者がchamトークンを保有することにより享受できる利益又は権利等は、当社の管理運営する事業の展開に依存するものです。chamトークンエコノミーは現在企画段階であり、リリース前に大幅な内容の変更が行われる可能性があります。設計時及び実装計画の変更やchamトークンエコノミーの構築又は実行を含むいくつかの理由により、購入時に保有されているchamトークンの形式及び機能に関する期待は、リリース時に満たされないことがあります。当社は最善の努力を払うもの、当該利益又は権利等の有無、享受できる時期又は内容その他の事項については変更される可能性があり、購入者の期待する利益又は権利を享受できることにつき保証するものではありません。

（外部的要因に基づくリスク）

- ハッカーやその他のグループや組織は、サービス拒否攻撃、Sybil攻撃、スプーフィング、スマーフ、マルウェア攻撃、合意に基づく攻撃など、さまざまな方法でchamトークンエコノミー又はchamトークンの可用性を妨害しようとする可能性があります。
- 暗号の進歩、あるいは量子コンピュータの開発などの技術的進歩は、暗号分野及びchamトークンエコノミーにリスクをもたらし、chamトークンの盗難や紛失の原因となる可能性があります。
(その他のリスク)
- 他の金融機関の銀行口座やアカウントとは異なり、chamトークンを使用して保有されている資金は、保険がかけられていません。喪失又は価値の喪失の場合、民間保険会社のような公的保険会社による救済措置はありません。
- chamトークンの価値の不利な変動、ビジネス関係の不備など、これに限定されない多くの理由により、chamトークンエコノミーは実行不可能となり、解散する可能性があります。
- 暗号トークンは新たな技術です。ここに記載されたリスクに加えて、当社が予想できないリスクがあります。ここに記載されている予想せぬ組み合わせやリスクの変動として、リスクがさらに顕在化した場合、chamトークンの価値に影響を及ぼす可能性があります。

保証の否認及び免責

- 当社はchamトークンが「現状有姿で」かつ「提供可能な限度」で、いかなる種類の保証もなく販売され、販売者は明示的にchamトークンについて、商品性、特定目的への適合性、権原及び非侵害性の黙示保証を含むがそれに限定されないすべての黙示保証を否認します。
- 当社は、chamトークンが信頼に足り、最新であり、過誤がなく、購入者が求める条件を満たすあるいはchamトークンの欠陥が将来において修正されるという表明も保証も行いません。
- 当社はchamトークン又はchamトークンの引渡しの仕組みがウイルス又は他の有害な構成要素に侵されていないことについての表明も保証も行いません。
- 当社は、本書又は当社ウェブサイト等に記載された情報の真実性、正確性及び完全性に関する表明、保証又は約束を含む、いかなる種類の表明、保証又は約束を行わず、行うことを意図しておらず、またかかる表明、保証又は約束をすることを否認します。
- 当社は、chamトークンに関する現在価値の概算情報、当社が提供する情報及びchamトークンにより購入者が取得し得る一切が、購入者の特定の目的に適合すること、期待する機能・商品的価値・正確性・有用性・完全性を有すること、chamトークンの購入が購入者に適用のある法令又は業界団体の内部規則等に適合すること、不具合が生じないこと及びchamトークンに関する問題を解決することについて、何ら保証するものではありません。
- 当社及び当社関係者はchamトークンの購入に関連して購入者が被った損害について、一切賠償の責任を負いません。なお、消費者契約法の適用その他の理由により、本定めその他当社及び当社関係者の損害賠償責任を免責する定めにかかわらず当社又は当社関係者が購入者に対して損害賠償責任を負う場合においても、当社又は当社関係者の賠償責任の範囲は当社又は当社関係者の責めに帰すべき事由により現実が発生した直接かつ通常の損害に限られるものし、かつ、その賠償金額の上限は、購入者によるchamトークンの購入代金の金額を上限とするものとします。
- 購入者は、chamトークンの購入に関し、いかなる税金（消費税、販売税、利用税、付加価値税等を含みます。）が課されることになるかにつき、自ら責任を負うものとします。また、正しい税額を源泉徴収、回収し、これを報告し適切に納付することも購入者の責任となります。chamトークンの購入に関する税の源泉徴収、回収、報告、又は納付について当社は一切の責任を負いません。

■ 購入者は、chamトークンが購入時点において、以下のいずれにも分類されず、取り扱われないことにつき同意し、認識していること

- ・ 資金決済に関する法律第2条第5項に定める仮想通貨
- ・ 資金決済に関する法律第3条第1項に定める前払式支払手段
- ・ 日本又はその他の国家の定める法定通貨又はみなし通貨
- ・ 当社又はその関係会社が発行する社債
- ・ 当社又はその関係会社が発行する株式その他の支配権
かかる社債、株式もしくは株券に関する権利、オプション又はデリバティブ
利益の確保もしくは損失の回避を目的もしくは建前上の目的とするCDF契約
その他の契約に基づく権利
- ・ 集団投資スキームの持分
- ・ 事業信託の持分
- ・ 事業信託の持分のデリバティブその他一切の有価証券もしくは有価証券の種類

■ 購入者は、仮想通貨、ブロックチェーンに基づくソフトウェアシステム、仮想通貨ウォレットもしくはその他の関連するトークン保管メカニズム、ブロックチェーン技術及びスマートコントラクト技術の運用、機能、使用、保管、送信メカニズム及びその他の重要な特質について、十分理解していること

■ 購入者は、当社又はその事業及び運営に伴うリスクがあることを十分に認識し、理解していること

■ 購入者は、購入者がchamトークンを購入することに起因又は関連して生ずる間接損失、特別損失、偶発的損失、派生的損失その他あらゆる種類の損失について（収益、収入もしくは利益の損失及び使用不能損失もしくはデータの損失などを含みます。）、それが不法行為、契約又はその他のいずれに基づくかにかかわらず、当社及び当社関係者が責任を負わないことに同意し、認識していること

■ 購入者は、chamトークンをマネーロンダリング及びテロ資金供与などを含むいかなる違法不当な行為にも利用しないこと

■ 当社及び当社関係者は、上記購入者が表明保証する事項その他の購入者に対して説明されたchamトークン購入に関するリスク及びデメリットに関して購入者に生じた一切の損害について、理由の如何を問わず一切責任を負わず、購入者はこれらの事項につき当社及び当社関係者を免責するものとします。